

蕨山山行報告

【山行日】2019年3月24(日) 晴れ
【集 合】岩舟支所P AM 5:30
【費 用】マイカー2台 : 2,800円
【メンバー】CL:鈴木ユ、安西、大西、梶内、
島田、清水、関、五月女、福島、藤原、渡辺
【コースタイム】岩舟支所 P5:30=さわらびの湯
P7:05/7:15=名郷 7:30/8:00~林道終点 8:20~
蕨山 10:30/10:50~藤棚山 11:20~オオヨケノ頭
11:40/12:10~金毘羅神社 13:15/13:25~
さわらびの湯 14:05/14:20=岩舟支所 P16:10



奥武蔵の人気コースの一つ蕨山に、名郷から登る計画を立てた。さわらびの湯へ車を置きバスで名郷へ向かう予定だったが、早く着いたので名郷まで車で行くことにした。名栗川沿いの道を行くと、梅の花が満開で、車窓から美しい山村風景を楽しむことが出来た。名郷へ着いたら出発の準備をして、1台の車をさわらびの湯へデポし名郷へ戻る。バス代が節約出来た上に、予定よりも早く出発出来た。駐車場からすぐに橋を渡り、ワラビ入の沢沿いに林道を進む。20分程で林道終点になり、右に降りて沢を渡り植林帯の急な斜面に取りつく。薄暗い植林帯の急坂を登り、尾根に出ると明るい雑木林に変るが急登は続く。

時折西側から強風を受けるが、汗をかいた体には心地よく感じる。高度を上げるにしたがって眺望も得られ、急登の疲れを癒してくれる。途中の展望の良い場所で休憩し、イチゴや草餅をいただきエネルギーを補給する。危険な場所はほとんど無いが、滑りやすい岩場の登りは木の根に掴まりながら登って行く。やがて稜線に出ると分岐になり、右に行くと1044mの最高点があるが左の道を進み展望台に着く。こちらに蕨山山頂の標識があり、展望も抜群なので大休止する。デコボンや菓子などおやつを食べながら、有間山や武甲山、武川山等奥武蔵の山々の展望を楽しむ。展望を楽しんだら記念写真を撮り、南東に伸びる尾根を下って藤棚山に向かう。いわゆる金毘羅尾根の下りで、初夏にはツツジの花が咲き、秋の紅葉も美しく楽しい尾根歩きが続く。展望の良い尾根を大きく下って、少し登り返すと藤棚山に着くが展望はほとんど無かった。ここからも展望の良い尾根を下り、伊豆ヶ岳方面の展望を見ながら小ピークを越え、少し登ると大ヨケノ頭に着く。広くは無いが平らな場所で、ここでランチタイムとする。



早速うどんを作り出汁巻き卵や漬物などが出され、美味しくいただいた。食後のお茶を飲んだら出



発し、金毘羅山を目指して下って行く。皆さん元気で、尾根伝いに小ピークの登降を繰り返して下り、やがて金毘羅山の登りになる。登山道は巻道を進むようになっているが、山頂に向かって踏み跡がはっきり付いている。金毘羅山山頂で記念写真を撮りそのまま直進して下るが、登山道は踏み跡程度の道になり不明瞭な道を降りて行く。すぐ下で巻道と合流し、そのまま緩やかに下ると金毘羅神社に着く。ここで大休止しデコポンや菓子などが沢山出てオヤツタイム

にし、のんびり休憩を取る。ここから我輩と K 内さんが先行して下り、デポした車で名郷に止めた車を回収に向かう。急ぎ足で下り、さわらびの湯駐車場に着いたら靴を履き替え名郷に向かう。名郷の駐車場に着くと車のワイパーに封筒が挟んであり、駐車料金を封筒に入れ回収ボックスに入れる。

さわらびの湯に戻ると皆さんすでに下山し、トイレに入って待っていた。皆さんが靴を履き替え、売店を覗いて買い物が済んだら帰路につく。

今日の山は初めて登る人がほとんどで、蕨山山頂の眺望や明るい金毘羅尾根の下りが気に入ったようである。青梅インターから圏央道に入り、狭山 PA で休憩しトイレと買い物を済ませ岩舟に向かう。圏央道から東北道と順調に走り、予定よりも早く岩舟支所に帰着した。

今日、のんびり休憩を取る。ここから我輩と K 内さんが先行して下り、デポした車で名郷に止めた車を回収に向かう。急ぎ足で下り、さわらびの湯駐車場に着いたら靴を履き替え名郷に向かう。名郷の駐車場に着くと車のワイパーに封筒が挟んであり、駐車料金を封筒に入れ回収ボックスに入れる。

